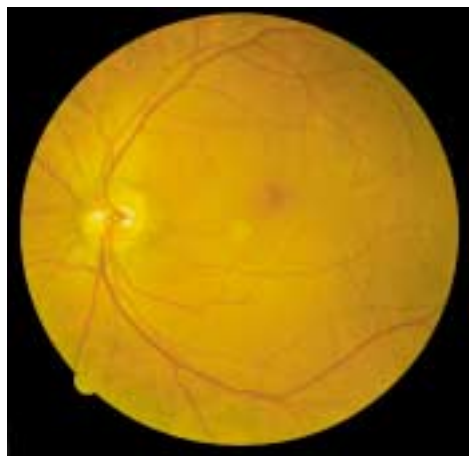
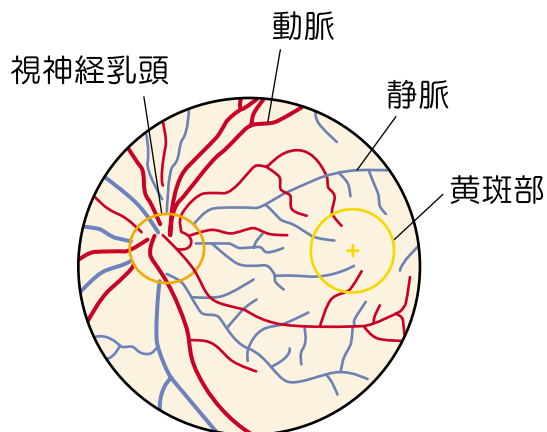


## 9. 眼底検査

眼の奥には網膜というカメラのフィルムにあたる重要な膜があり、ここに多くの小血管（小動脈、毛細血管、小静脈）が分布しています。この部分を眼底といいます。



眼底写真



眼底を見ることによって、その人の血管を直接観察し、その血管の形状（色や形、走行の仕方）を知り、病気の有無や病気の進み具合を調べるのが目的です。

検査方法は、眼底カメラ顔受け台に顎をのせ、目をなるべく大きく開いて、レンズの中の点を見てもらうだけです。コンタクトレンズは汚れていると眼底がはっきりみえないのではずして頂いたほうがきれいに撮影できます。



眼底カメラ装置

高血圧や動脈硬化による血管の変化や、糖尿病の合併症である網膜症など、内科の病気による血管の異常を体外から直接観察することができる検査です。